1.校名決定方法について

(1)校名募集方法(案)

項目	募集内容		
公募形式	① 統合校A、統合校B それぞれで募集する。 募集要項、応募用紙は2校別々にする。 募集期間は一緒にする。	② 統合校A、統合校B 一緒に募集する。 募集要項、応募用紙は2校一緒にする。 2校両方に応募でも、どちらか1校のみ応募でも可。	③ 統合校A、統合校B 一緒に募集する。 募集要項、応募用紙は2校一緒にする。 選択肢として「東部北小・東部南小」「大平小・飯野小」を挙げ、それ以外の場合は「その他」を選び校名案を記載する。 「その他」の場合は2校両方応募でも、どちらか1校のみ応募でも可。
応募資格	① 東部中学校区にゆかりのある方 ・東部中学校区の小中学校の児童生徒 ・東部中学校区に在住、在勤の方 ・東部中学校区の小中学校の卒業生 など	② 市内在住、在勤、在学の方 上記以外のうち、市内の小学校を卒業された方	
募集期間	1か月		
応募条件	応募は統合校ごとに1人1点まで。 漢字、ひらがな、カタカナは問わない。 校名に込めた思いや理由等を必ず記入すること。		
応募方法	(1)インターネットでの応募 (LoGoフォーム) (2)応募用紙での応募 (持参、郵送)		
応募用紙の提出先	松阪市教育委員会事務局 教育総務課 学校活性化推進室 (〒515-8515 松阪市殿町1315番地3) または 東部中学校区内に設置する応募箱		
周知方法	(1)インターネット (2)広報まつさかと一緒に各戸配布 (3)学校から児童生徒へ配布 (4)各地区市民センターへ応募用紙設置 (5)報道機関(松阪記者クラブ)への情報提供		

(2)校名決定までのプロセス(案)

R6年 8月 公募方法協議、決定

10月 募集要項内容・応募用紙等確認、決定

11月 公募

12月 総務部会にて校名候補(5つ程度)選定

R7年 1月 学校活性化協議会にて校名選定

その後 教育委員会定例会にて校名決定

松阪市議会定例会にて松阪市学校設置条例改正案を審議、議決

2.校章決定方法について

(1)校章募集方法(案)

項目	募集内容		
公募形式	① 統合校A、統合校B それぞれで募集する。 募集要項、応募用紙等2校別々にする。 ① 募集期間は一緒にする。	② 統合校A、統合校B 一緒に募集する。 募集要項、応募用紙は2校一緒にする。 ② 同じデザインとし、デザイン内の校名だけそれぞれの校名にする。	③ 統合校A、統合校B 一緒に募集する。 募集要項、応募用紙は2校一緒にする。 ③ 2校同じデザインでも、違うデザインでも応募可。 2校両方に応募でも、どちらか1校のみ応募でも可。
応募資格	① 東部中学校区にゆかりのある方 ・東部中学校区の小中学校の児童生徒 ・東部中学校区に在住、在勤の方 ・東部中学校区の小中学校の卒業生 など	② 市内在住、在勤、在学の方 上記以外のうち、市内の小中学校を卒業された方	③ なし (全国からどなたでも応募可)
募集期間	1か月半程度(校名決定後)		
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・応募は統合校ごとに1人1点まで。 ・新しい小学校の校名が表現できるもの。 ・デザインに込めた意味や理由等を必ず記入すること。 ・カラー、単色は問わないが、単色または白黒で表示してもイメージを損なわないものとする。 ・グラデーション(ぼかし)は使用しないこと。 ・12cm四方の枠内に校章をデザインすること。 ・縮小しても視認性が損なわれないこと。 ・データで提出する場合は、ファイル形式を「JPG,PNG」のいずれかの形式で提出。 ・他の商標と類似していない自作の未発表のもので、第三者の著作権その他法的権利を有する作品でないもの。 ・インターネットに掲載されている第三者の写真、イラスト、書体(フォント)等は使用しない。 ・AI(人工知能)によって生成されたロゴマークについては、著作権侵害等、著作権の問題を生じる恐れがありますので、AI 生成画像の応募は禁止する。 		
応募方法	(1)インターネットでの応募 (LoGoフォーム) (2)応募用紙での応募 (持参、郵送)		
応募用紙の提出先	松阪市教育委員会事務局 教育総務課 学校活性化推進室 (〒515-8515 松阪市殿町1315番地3) または 東部中学校区内に設置する応募箱		
周知方法	(1)インターネット (2)広報まつさかと一緒に各戸配布 (3)学校から児童生徒へ配布 (4)各地区市民センターへ応募用紙設置 (5)報道機関(松阪記者クラブ)への情報提供		

(2)校章決定までのプロセス(案)

R6年 8月 方法協議、決定

R7年 1月 学校活性化協議会にて校名選定

2月 募集要項内容・応募用紙等確認、決定

4月 公募

6月 総務部会にて校章候補(5つ程度)選定

7月 学校活性化協議会にて校章選定

その後 デザイン化 (弁理士への確認)

校旗等作成

3.校歌決定方法について

(1)募集方法(案)

項目	内容	
校歌の歌詞・曲	① 統合校A、統合校Bで同じ歌詞、同じ曲とし、校名が入る部分だけそれぞれの校名とする。	② 統合校A、統合校Bでそれぞれ別々に作成する。
歌詞の公募	① あり(単語・フレーズを募集)	
応募資格	① 統合対象校の児童、教職員	② 東部中学校区にゆかりのある方
応募条件	歌詞(単語・フレーズ)に込めた思いや理由等を必ず記入すること	
作成プロセス	応募された歌詞(単語・フレーズ)を作詞者に伝え、作詞を一任する。	
応募作品の取り扱い	応募された「単語・フレーズ」は、作詞の際の参考資料として活用する。 また、応募された「単語・フレーズ」のすべてを使用するものではない。	
作詞者	① まずは東部中学校区内で作詞できる方を探し、市教委から作詞依頼する。 校区内で作詞できる方がいない場合は、市教委で作詞者を検討、依頼する。	② 市教委で作詞者を検討、依頼する。
作曲者	① まずは東部中学校区内で作曲できる方を探し、市教委から作曲依頼する。 校区内で作曲できる方がいない場合は、市教委で作曲者を検討、依頼する。	② 市教委で作曲者を検討、依頼する。
校歌作成の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい小学校のシンボル(象徴)として、学校への愛着、親しみ、誇りなどを持つことができ、長きに渡って親しまれるような校歌とする。 ・児童が歌いやすい、ピアノ等で弾きやすい、明るく希望があふれるような曲調とする。 ・自校への愛校心を培い、学校生活が思い出として深く心に残されるよう「学校周辺の自然・地名・歴史などの情景」を歌詞の基本構成とし、学校名を歌詞に盛り込むこととする。 ・著作権等の権利を侵害しないものとする。 	

(2)校歌決定までのプロセス(案)

- R6年 8月 方法協議、決定
- ~10月 中学校区内で作詞者・作曲者探し
- R7年 1月 学校活性化協議会にて校名選定
- 1月 募集要項内容・応募用紙等確認、決定
- 2月 歌詞募集
- 3月 総務部会にて応募結果確認
- ~3月 作詞者・作曲者選定
- 4月~ 作詞・作曲作業
- 10月 総務部会及び学校活性化協議会にて校歌確認
- その後 校歌額作成